**105学年度淡江大学日文系国際学術シンポジウム**

テーマ　キャップストーンコースとキャリア教育のレリバンス

　　　 (頂石課程與職涯連結)

時　間　2017年6月24日(土曜日)

場　所　淡江大学驚声国際会議場

主　催　淡江大学日本語学科

議程(案)

|  |  |
| --- | --- |
| **0840-0900** | **受付** |
| **0900-0910** | 開幕式  曾 秋桂(淡江大学教授兼系主任・台湾日本語教育学会  理事長)  鹽澤 雅代(日本台湾交流協会文化室主任)  陳 小雀(淡江大学教授兼院長) |
| **0910-1000** | 基調講演（1）  主持人 頼　振南(輔仁大学教授兼院長・台湾日本語  文学会理事長・国際医療翻訳協会理  事長)  演講者 山内 信幸(同志社大学教授兼学部長)  講 題 キャップストーンコースとキャリア教育のレリバンス  ―大学教育の質的変革と同志社大学文化情報学部での「学  び」の実践例― |
| **1000-1050** | 基調講演（2）  主持人 曾 秋桂(淡江大学教授兼系主任・台湾日本語  教育学会理事長)  演講者 李 吉遠(韓国教授)  講 題 キャップストーンデザインと外国語教育―  東亜大学校中日学部でのコースデザインの実  践例― |
| **1050-1100** | ティータイム |
| **1100-1200**  **(第一発表セッション)** | 主持人 黃 翠娥(輔仁大学教授)  発表者 落合由治(淡江大学教授)・  曾 秋桂(淡江大学教授兼系主任)  題目 キャップストーンコースとしての「卒業制作」  の古今と課題─淡江大学日本語文学科を例に  発表者 中村 香苗(淡江大学助理教授)  題目 キャリア教育を目指した日本語教育実習ーそ  の成果と課題ー |
| **1200-1300** | 昼食 |
| **1300-1400**  **(第二発表セッション)** | 主持人 頼　錦雀(東呉大学教授)  発表者 董 莊敬(文藻外語大学副教授)  題目 大学におけるキャリア支援の有用性と課題  ―就職経路、大学経験からの影響要因の検討  発表者 羅 曉勤(銘伝大学副教授)  題目 海外インターンシップ実施現状及び課題  　　　　ー銘伝大学応用日本語学科を例にー |
| **1400-1500**  **(第三発表セッション)** | 主持人 范 淑文(台湾大学教授兼学科主任)  発表者 堀越 和男(淡江大学副教授)  題目 ドキュメンタリー制作を取り入れた4年生会話  授業の試み―「卒業制作」との連携―  発表者 河村 裕之(淡江大学講師)  題目 「雑誌編集」－指導の現状と成果 |
| **1500-1510** | ティータイム |
| **1510-1610**  **(第四発表セッション)** | 主持人 蘇　克保(東吳大学副教授兼学科主任)  発表者 孫 寅華(淡江大学副教授)  題目 二年生会話教室においてディベート実施の  可能性  発表者 富田 哲(淡江大学副教授)  題目 大学教育での日本語ディベートの実践  　　　　―意義と限界― |
| **1610-1710**  **(第五発表セッション)** | 主持人 李　偉煌(靜宜大学副教授兼学科主任)  発表者 林 寄雯(淡江大学副教授)  題目 実務に生かす第二言語習得の実践例  ―淡江大学卒業専題翻訳組を例として―  発表者 王 憶雲(淡江大学助理教授)  題目 キャプストンプログラムと卒業演劇公演 |
| **1710-1720** | 閉幕式 |

**主催　淡江大学日本語文学系**

**共催　淡江大学村上春樹研究中心・台湾日語教育学会**

**後援　（公財）日本台湾交流協会台北事務所**